

## 予 算 要 求 資 料

令和8年度当初予算

支出科目 款：農林水産業費 項：農業費 目：園芸特産物対策費

### 事業名 【新】戦略的花き生産・販売プロジェクト推進事業費

(この事業に対するご質問・ご意見はこちらにお寄せください)

農政部 農産園芸課 花き係 電話番号：058-272-1111(内4113)

E-mail：c11423@pref.gifu.lg.jp

1 事業費 5,000 千円 (前年度予算額：0 千円)

#### <財源内訳>

区 分	事業費	財 源 内 訳							
		国 庫 支出金	分担金 負担金	使用料 手数料	財 産 収 入	寄附金	その他	県 債	一 般 財 源
前年度	0	0	0	0	0	0	0	0	0
要求額	5,000	0	0	0	0	0	0	0	5,000
決定額	5,000	0	0	0	0	0	0	0	5,000

## 2 要 求 内 容

### (1) 要求の趣旨（現状と課題）

国内マーケットの縮小や価格低迷により花き生産が縮小傾向にある中、他産地との差別化を図るための県オリジナル品種の期待は大きい。一方で花き品種はトレンドの移り変わりが早く、確実にブランド化を進めるためには、市場動向の把握や求められる流通量の供給、適切な販売促進活動が必要である。

### (2) 事業内容

- ①主要花き市場等へのマーケティング調査
  - ・花きのトレンド調査、県育成品種の需要量調査
- ②マーケティング調査結果の生産現場へのフィードバック
  - ・花きのトレンドを試験研究機関や生産者に共有
  - ・県育成品種の生産可能数量の見込み調査
- ③上記を踏まえ、県関係者による生産・販売の方向性を決定

### (3) 県負担・補助率の考え方

県10/10

県育成品種のブランド化を推進するため、県が主体となり実施することが妥当である。

### (4) 類似事業の有無

ぎふ花と緑の振興コンソーシアムのWGとは異なり、県育成品種のみを対象とした調査等を行う。

調査結果はWGとも共有し、ブランド化のさらなる推進に活用する。

## 3 事業費の積算 内訳

事業内容	金額	事業内容の詳細
報償費	32	プロポーザル委員報償費
旅費	135	プロポーザル委員旅費及び県関係機関による検討会旅費
需用費	36	事務消耗品
役務費	24	通信運搬費
委託料	4,773	主要花き市場需要調査、県内生産状況調査等
合計	5,000	

## 決定額の考え方

## 4 参考事項

### (1) 各種計画での位置づけ

ぎふ花と緑の振興計画（仮称・令和8年3月策定予定） 1 「花と緑の生産振興」

### (2) 国・他県の状況

県オリジナル品種をブランド化する取組みは、各県で行われている。

### (3) 後年度の財政負担

県育成品種のブランド化は花き生産振興上重要であり、事業効果を検証し継続を検討する。

### (4) 事業主体及びその妥当性

県育成品種のブランド化を推進するため、県が主体となり実施することが妥当である。

# 事業評価調査書（県単独補助金除く）

新規要求事業

継続要求事業

## 1 事業の目標と成果

### （事業目標）

・何をいつまでにどのような状態にしたいのか  
市場ニーズに対応したオリジナル品種を育成し、ブランド力を高めることにより花き産出額の増加につなげる。

### （目標の達成度を示す指標と実績）

指標名	事業開始前 (R5)	R6年度 実績	R7年度 目標	R8年度 目標	終期目標 (R12)	達成率
① 主要品目の花き産出額（億円）	46	43	—	46	53	81%

### ○指標を設定することができない場合の理由

### （これまでの取組内容と成果）

令和4年度	指標① 目標：___ 実績：___ 達成率：___ %
令和5年度	指標① 目標：___ 実績：___ 達成率：___ %
令和6年度	指標① 目標：___ 実績：___ 達成率：___ %

## 2 事業の評価と課題

### (事業の評価)

<p>・事業の必要性(社会情勢等を踏まえ、前年度などに比べ判断) 3:増加している 2:横ばい 1:減少している 0:ほとんどない</p>	
(評価) 3	花き生産が縮小傾向にある中、他産地との差別化を図るため県オリジナル品種のブランド化に対する期待は大きい。
<p>・事業の有効性(指標等の状況から見て事業の成果はあがっているか) 3:期待以上の成果あり 2:期待どおりの成果あり 1:期待どおりの成果が得られていない 0:ほとんど成果が得られていない</p>	
(評価)	
<p>・事業の効率性(事業の実施方法の効率化は図られているか) 2:上がっている 1:横ばい 0:下がっている</p>	
(評価) 2	これまでの事業を見直し、生産振興対策として県育成品種のブランド化に重点化し、効率的に事業を行う。

### (今後の課題)

<p>・事業が直面する課題や改善が必要な事項 県では多くの新品種の育成を進めているものの、県育成品種の生産拡大につながっていないため、ブランド化に取り組む必要がある。</p>
---

### (次年度の方向性)

<p>・継続すべき事業か。県民ニーズ、事業の評価、今後の課題を踏まえて、今後どのように取り組むのか 花きはトレンドの移り変わりが早く、常に市場動向を把握し、市場に求められる商品をいち早く安定的に供給するためには継続的な調査が必要。</p>
---

### (他事業と組み合わせて実施する場合の事業効果)

<p>組み合わせ予定のイベント 又は事業名及び所管課</p>	
<p>組み合わせる理由 や期待する効果 など</p>	【〇〇課】